

## ニュージーランド 2023年のキウイフルーツは生産者の失望で終了

FreshPlaza 2023年6月21日

ニュージーランドの2023年産キウイフルーツの収穫量は控えめであり、生産者はこのシーズンに生産されたキウイフルーツの量に満足していない。これは、キウイフルーツ生産者にもう1年財務的な圧力をもたらすことになる。彼らは、2024年のトンネルの出口の光を目指して、海外市場に輸出されるキウイフルーツの品質に目を光らせている。

ニュージーランド最大の園芸輸出品目であるキウイフルーツの2023年の収穫シーズンは、現在海外市場に出荷されている荷を以てほぼ終了した。

ニュージーランド・キウイフルーツ生産者協会のコリン・ボンド会長は、生産量が少ないため、これは最近の記憶の中で最も経済的に報われない収穫の1つであるとして、「キウイフルーツ業界は、コロナ禍の間も事業を継続することができたため、比較的好調であった。しかし、過去2年間は、コロナ禍の間に他の業界が経験した経済的な困難と同程度であり、今度は我々の番である」と述べている。(以下「」は同会長の発言)

生産者にとっての多くの問題は、2022年後半の品質問題から始まり、2023年に入っても、受粉の不良、風、洪水、雹、サイクロンが続き、出荷量が減少した。当初は1億6千万箱のキウイフルーツが出荷されると考えられていたが、最終的な数は1億4千万箱をはるかに下回る可能性が高く、2022年の1億7,500万箱にはほど遠い。

各箱には平均して約30個のキウイフルーツが入っている。ボンド氏によると、キウイフルーツの栽培と輸出にかかるコストの増加が、生産量が少ない年の生産者にとって特に苦痛となる。

「生産者は、少ない量のキウイフルーツで可能な限り最高の利益を得るために、ゼスプリが市場でパフォーマンスを発揮するよう一層の圧力をかけている。ゼスプリは、市場に出回るキウイフルーツの品質は高く、これまでのところ予想される収益は良好であると報告しているが、当協会は今後数か月にわたって品質を詳しく追跡し続ける。業界は品質の問題を減らすために協力して取り組んできたが、収量の低い年にこの取り組みが報われることは一層重要である。」

しかし、トンネルの終わりには光があり、2024年の予測はこれまでで最大級のものになると見られている。

「その大量のキウイフルーツを優れた状態で消費者に届けるために、サプライチェーン全体として大きな責任がある。業界全体ですでに計画が進行中である。天候を制御することはできないが、成功の可能性を高め、生産者を経済的負担から解放するために、正しい取り組みを行う必要がある。」

2022年の輸出額は29億NZドルで、ニュージーランドのキウイフルーツ産業は、キウイフルーツ産地の経済に重要な貢献をしており、多くのコミュニティがその成功の恩恵を受けている。